

7. レインボーアーカイブ東北 震災体験の手記

007_001 - 007_005

記録：レインボーアーカイブ東北

宮城県仙台市を拠点に、LGBT（レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー）など多様な性の当事者の声を集積・記録・発信する団体「レインボーアーカイブ東北」によって集められた震災体験の手記パネル。当事者がそれぞれに抱えていた特有の困難や想いが記されています。

「レコーディング イン プロGRESS -3がつ11にちをわすれないためにセンター活動報告展-」（会期：2015年2月20日-3月18日）で展示されました。

記録／レインボーアーカイブ東北
制作年／2015年
パネル枚数／19枚



パネル番号：007_001
資料名：震災から得た新しい視野
地域情報：仙台市
資料数：5ページ

記録：イル
生粋の宮城県人。仙台市内陸部在住。レズビアン寄りのバイ/リパ寄りのネコ/中性寄りの女性。全てちゅうぶらりんだが自分のマイノリティを楽しんでいる。特技の音楽を活かし、社会にマイノリティをアピール。



パネル番号：007_002
資料名：「セクマイ被災者」と呼ばれて
地域情報：多賀城市
資料数：2ページ

記録：namihei
宮城県多賀城市在住
30代FtXトランスジェンダー。パートナーと同居。震災前はセクマイコミュニティとは一切関わらず、一般社会ともなるべく距離を置いて生活するクローゼットで、セクマイ当事者とはインターネットで交流。



パネル番号：007_003
資料名：東日本大震災を自分なりに振り返ってみる
地域情報：仙台市
資料数：2ページ

記録：小浜耕治
50代前半ゲイでMtX。東北HIVコミュニケーションズ所属。HIV問題に取り組むボランティア「やろっこ」にも関わる。介護士として勤務。20年来の男性パートナーと住むマンションは大規模半壊するも部屋は耐え自宅にて被災生活を送った



パネル番号：007_004
資料名：ゲイとしてのつながり・絆
地域情報：仙台市
資料数：3ページ

記録：ふとし
宮城県仙台市出身・在住。生まれつきのゲイ。震災当時は30代後半。community center ZEL代表。ボランティアグループ「やろっこ」代表。



パネル番号：007_005
資料名：とある独り者の場合
地域情報：仙台市
資料数：4ページ

記録：MEME
宮城県出身・在住。壇蜜と同年。恋愛や結婚に興味のないバイセクシュアル。戸籍と身体は♀。

7. レインボーアーカイブ東北 震災体験の手記

007_006

記録：レインボーアーカイブ東北



パネル番号：007_006
 資料名：
 私は、被災していない
 地域情報：青森県弘前市
 資料数：2ページ

記録：柳田創
 30代FtMトランスジェンダー。青森県弘前市在住。性同一性障害としてホルモン治療を受け男性として生活。クローゼットなセクマイのオフ会を行っていたが、見える存在になる必要性を感じ「スクランブルエッグ」を設立。



パネル番号：007_007
 資料名：
 パネル表紙
 資料数：1ページ



パネル番号：007_008
 資料名：
 用語解説
 資料数：1ページ

「手記」内に出てくるセクシュアリティに関する用語解説。セクシュアリティに関する用語の意味・解釈には諸説あります。記録者それぞれが少し違ったニュアンスで使用している場合もありますが、このパネルを読み進める参考として、性の多様性に想いをめぐらせてみてください。